

各 位

大分県緩和ケア研究会
世話人代表 山岡 憲夫
(やまおか在宅クリニック 院長)

大分県緩和ケア研究会 特別企画
「エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座 in 大分」開催のお知らせ

拝啓 皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さてこのたびは大分県緩和ケア研究会 特別企画 エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座 in 大分、小澤竹俊先生をお迎えし、大分県で初めて開催することとなりました。

人生の最終段階(エンドオブライフ)を迎えた方の苦しみの理解やケアについて、小澤先生のご講義と事例検討・ロールプレイなど2日間のプログラムを通じて学んでいきます。

この貴重な機会に、お誘いあわせのうえ、ぜひお申し込みを頂きますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

敬具

記

〈大分県緩和ケア研究会 特別企画〉

エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座 in 大分

小澤竹俊先生(めぐみ在宅クリニック 院長/エンドオブライフ・ケア協会 理事)

- 日 時:一日目 2019年7月20日(土曜)10:00~18:30(開場 9:30)
二日目 " " 21日(日曜)10:00~18:00(開場 9:30)

■場 所:J:COM ホルトホール大分 3階 大会議室

■参加費:無料ですが事前申し込み(締め切り:6月14日)が必要です。

詳細はチラシをご参照ください。

■対 象:大分県内在住もしくは勤務の方・2日間とも受講可能な方
詳細はチラシをご参照ください。

■定 員:100名 *申込者の中から選考を行い、受講者を決定します。

選考結果は事務局より6月24日までにメールで連絡をいたします

以上

◇◆◇参加申し込み・お問い合わせ◆◆◇

大分県緩和ケア研究会事務局 担当:加藤(やまおか在宅クリニック内)

TEL:097-545-8008 FAX:097-545-8108 Eメール:kato@home-clinic.jp

大分県緩和ケア研究会

検索

最新情報発信中



エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座 in 大分

＜大分県緩和ケア研究会 特別企画＞

看取りへの「苦手意識」から「関わる自信」へ

人生の最終段階（エンドオブライフ）をケアできる人材育成プログラム



- ◆ 日程 : 2019年7月20日(土) 21日(日)
- ◆ 時間 : 一日目 10:00-18:30、二日目 10:00-18:00
- ◆ 会場 : J:COM ホルトホール大分 3F 大会議室
- ◆ 対象 : 医療・介護・福祉職、行政職、施設職員の方など
※大分県内に在住もしくは勤務の方を優先します
- ◆ 定員 : 100名
- ◆ 受講料 : 無料 (この講座は、公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団の助成を受けています)

講座概要

人生の最終段階にある人やその家族と関わる事を苦手と感じる人は少なくありません。日に日に食事が少なくなり、やがて寝ついていく人と、どのように関わってよいかわからない援助者が、自信を持って支援にあたれるようになることを目的として、この講座は企画されました。解決が困難な苦しみを抱えた人に接しても、“援助を言葉にする”ことで、医療・介護の仕事を問わず、一人ひとりが自信を持って人生の最終段階にある人と関われるようになることを目指します。

人生の最終段階に共通する自然経過、自宅・介護施設で求められる症状緩和や、意思決定支援の基礎知識のほか、**エンドオブライフ・ケアの中でも特に難しいとされるスピリチュアルペインに対するケアについて、1対1での対応方法から多職種連携で行う支援方法まで学びます。**



受講前提

※事例検討やロールプレイを行うため、基本的に下記を満たしている方を対象としています。前提を満たしていない方もスタッフがサポートいたしますのでご参加ください。

- 医療・介護の現場経験 1年以上
- 人生の最終段階に現在関わっている、過去に関わっていた、あるいは、これから関わろうとしている

対象

医療・介護・福祉職、行政職、施設職員の方など



申込方法

- 裏面参照

講師 小澤 竹俊

当協会理事・めぐみ在宅クリニック院長

1963年東京生まれ。世の中で一番、苦しんでいる人のために働きたいと願い、医師を志し、1987年東京慈恵会医科大学医学部医学科卒業。1991年山形大学大学院医学研究科医学専攻博士課程修了。救命救急センター、農村医療に従事した後、1994年より横浜聖生病院 内科・ホスピス勤務、1996年にはホスピス病棟長となる。2006年めぐみ在宅クリニックを開院、院長として現在に至る。2000年より学校を中心に「いのちの授業」を展開。2013年より、人生の最終段階に対応できる人材育成プロジェクトを開始。2015年4月、当協会設立。



学習要素

1. 課題背景 (2025年問題に備えて)
2. 人生の最終段階に共通する自然経過
3. 苦しむ人への援助と5つの課題
4. 意思決定支援
5. 自宅・介護施設で求められる症状緩和
6. 多職種連携で「援助」を言葉にする (マクロ)
7. 1対1で対応する (ミクロ)

受講者の声

- 30年余の看護業務の中で、苦手意識を持っていた人生の最終段階におけるかかわりについて、具体的に教えていただきました。
- 介護職として寄り添えることがたくさんあり、言語化、反復、沈黙は介護職でもできるということを学ばせていただきました。
- 人生の最終段階を迎えた人に、声をかける内容は、これまで数少なかった。相手を知ることで、声掛けの幅を広げることができることを今回学んだ。
- 多職種の方々たくさんの学びを共にさせていただき、援助を仕事にすることへの怖さが解消された。
- 援助者として、相手を理解して、支えて、問題を解決して・・・と、今まで考えていたことが間違っていて、その間違いが自分に焦りや苦手感を与えていたという事がわかり、考え方が変わりました。

一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会

電話: (03)6435-6404 (土日祝日を除き10:00~17:00)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門三丁目17番1号 TOKYU REIT 虎ノ門ビル6階

Web: <http://endoflifecare.or.jp/> facebook: <https://www.facebook.com/endoflifecare.or.jp> e-mail: info@endoflifecare.or.jp

—大分県緩和ケア研究会 特別企画—
エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座in大分
参加申込方法

下記いずれかの方法にて、2019年**6月14日(金)までに**
大分県緩和ケア研究会事務局へお申し込みください。

【お申し込み条件・注意事項・お申し込みの際は以下をご確認ください】

■受講者については、申込締め切り後に委員会で選考を行い、決定します。

受講決定については、6月24日(月)までにメールでご連絡いたしますので、連絡のとれるメールアドレスを必ず記入・入力してください。

事務局アドレスkatoh@home-clinic.jpからメール連絡をさせていただきます

志望動機や当日のグループ編成などを考慮しながら委員会で慎重かつ公平に選考をさせていただきます

■参加お申し込み条件は以下の通りとさせていただきますので、何卒ご了承ください。

- ・大分県内在住もしくは勤務の方
- ・7/20・21両日プログラムとも受講可能な方

チラシ表面の『受講前提』もご参照ください。専門職の方でなくてもスタッフがサポートします

上記条件を満たさない方は、締め切り後空席があれば受付をし、委員会にて選考とさせていただきます

①**申込専用フォーム**

<https://bit.ly/2V92IYx>
 必要事項を順にご入力ください



Facebookもチェック



最新情報更新中です

②**Eメール**

事務局 katoh@home-clinic.jp まで
 以下内容を添えてお申し込みください

- 氏名(ふりがな) ■メールアドレス ■電話番号
- 職種 ■所属名 ■居住市町村名
- 実務経験(医療介護福祉に携わった年数)
- 看取りの経験有無(ある場合は何年間で約何件かも)
- 懇親会ご出欠(7/20講座終了後開催)
- 受講に関して志望動機など

③**FAX** 以下にご記入のうえ、FAXしてください ⇒送信先FAX番号：**097-545-8108**

(ふりがな) 氏名		メールアドレス	
電話番号		職種	
所属名		居住市町村名	
実務経験 いずれかに○ 経験のない方は「なし」	医療・介護・福祉に携わった年数 年	看取りの経験 いずれかに○ 可能なら経験件数も	あり (約 件/約 年間) なし
懇親会 いずれかに○	出席 ・ 欠席 (7/20講座終了後、懇親会を開催予定。参加費4,000円)		
受講に関して 志望動機など			